

図書便り

第135号
2016/12/22 発行
茨城県立筑波高等学校
図書委員会

読書感想文校内コンクール入賞者

夏季休業中に募集した読書感想文を国語科・図書部の先生方で審査した結果です。
入選されたみなさん、おめでとうございます！！

最優秀賞

2年1組 飯塚 結希乃さん
『母性』について

入賞

3年1組 飯村 莉奈さん
『いぬのメリー』を読んで
1年1組 栗原 安佳里さん
『ワンダー』を読んで



※本の著者名や出版社等については、スマホの検索サイトを使って調べてみて下さい。

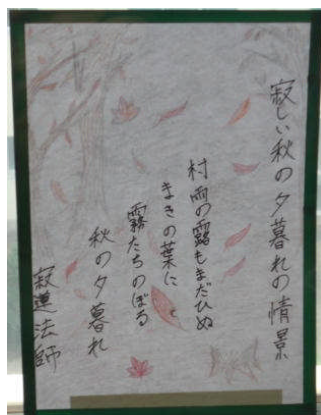
なお、飯塚さんは、「第62回茨城県高等学校教育研究会図書館部読書感想文コンクール高等学校の部」で県優良賞を受賞しました。おめでとうございます。

図書委員会の活動

① 文学散歩 (8月)
国土地理院と
茨城県自然博物館見学



② 県西地区生徒図書委員会
に参加し、完成した作品



③ クリスマス飾り



新着本案内

たくさん本を読んで、知識を深めよう！

『黄金の鳥』 阿部 智里 (文春文庫)

2012年『鳥に単は似合わない』で、史上最年少の20歳で松本清張賞を受賞。翌年に『鳥は主を選ばない』を出版。人間の代わりに八咫鳥の一族が支配する世界〈山内〉を舞台に、次の統治者である日嗣の御子の座をめぐる権力争いを波乱万丈に描いている。

『鳥は主を選ばない』 (文春文庫) 文庫
『鳥に単は似合わない』 (文春文庫) 文庫

今回は、3冊まとめて購入しました。



『ストロベリーライフ』 荻原 浩 (毎日新聞出版)

直木賞受賞第一作の最新長編小説。明日への元気がわいてくる人生応援小説！

「農業なんてかっこ悪い」と思っていたはずだった主人公。イチゴ農家を継げと迫る母親と猛反対の妻の板挟み。自分のデザイナーの仕事はどうするか。悩みながらの決断。



『夜行』 森見 登美彦 (小学館)

僕は誰も彼女のことを忘れられなかった。
『夜は短し歩けよ乙女』『有頂天家族』『きつねのはなし』代表作すべてのエッセンスを昇華させた、森見ワールド最新作！旅先で出会う謎の連作絵画「夜行」。この十年、僕は誰ひとり彼女を忘れられなかった。



『陸王』 池井戸 潤 (集英社)



足袋作り百年の老舗が、ランニングシューズに挑む。このシューズは、私たちの魂そのものだ！埼玉県行田市にある老舗足袋業者「こはぜ屋」。

従業員20名の地方零細企業が、伝統と情熱、そして仲間との強い結びつきで一世一代の大勝負に打って出るお話。

『本当にあった奇跡のサバイバル60』
タイムズ 河野純治(翻訳) 日経ナショナル・グラフィック社



大震災、飛行機脱落、登山事故、誘拐・・・など。絶体絶命の状況から九死に一生を得た人がある。生死を分けた判断、状況は何だったのか？ストーリー仕立てで臨場感あふれる文章と、脱出ルートをたどる詳細な地図、豊富な写真や資料で、奇跡の生還劇60本をドラマチックに再現する。「キャプテン・フィリップス」「大脱走」などの映画の元ネタとなったエピソードも多数収録。

*図書室に入れてほしい本があったら、どんどんリクエストしてください！！
昼休みと放課後は開館しています。図書館に来て下さい！

